

平成30年7月10日
中部地方整備局

浚渫兼油回収船「清龍丸」による支援物資の輸送

～平成30年7月豪雨に関する中部地方整備局の取り組み～

平成30年7月5日からの豪雨災害を踏まえ、緊急物資輸送等のため中部地方整備局の浚渫兼油回収船「清龍丸（白木船長、以下28名）」を7月9日（月）に広島県内の港湾に向けて派遣したところです。

今般、以下のとおり、堺泉北港において「清龍丸」に支援物資を積み込みます。併せて、出発式を行いました。

1. 活動場所：
中国地方整備局管内 広島県内の港湾
2. 支援活動の内容：
支援物資の輸送（水、食料）等
・飲料水：500ml×約7,300本
・主食：約1,400食、副食：約1,400食
3. 出発式・支援物資積み込み場所：
堺泉北港 大浜埠頭（大阪府堺市）
4. 日時：
出発式：平成30年7月10日（火）15：00
支援物資積み込み：出発式終了後、積み込み開始



【問い合わせ先】

中部地方整備局 港湾空港部

海洋環境・技術課 : 052-209-6329

課長 田村 誠

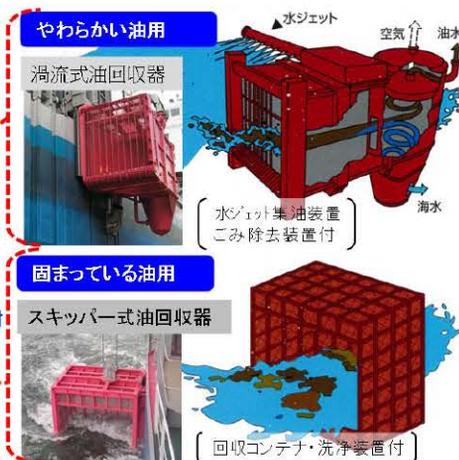
課長補佐 高橋 佳克

清龍丸（別紙参照）

浚渫兼油回収船「清龍丸」の概要

「清龍丸」の行う業務

- 通常は、航路、泊地等の浚渫作業。
 - ・高精度で平坦浚渫を可能とする幅広い新型ドラグヘッドを装備。
- 大量油流出時には、速やかに流出現場に向かい、油回収作業。
 - ・油の状況に応じた2種類の回収器を装備。
- 災害時には、災害支援作業（災害情報収集、救援物資輸送、給水、電力供給等）。
 - ・情報収集・発信のための通信システムや防災要員・物資運搬等のためのヘリデッキを装備。



油回収タンクに約1時間で1,000kl（ドラム缶約5千本分）の油水を回収可能。